



# 鶴見区 町会加入促進アクションプラン (R6～R8)

令和6年7月  
大阪市鶴見区役所



# 第1 アクションプランの目的と背景等

## 1 アクションプラン策定の目的と背景

- ・大阪市では、もっとも身近な地域コミュニティである町会への加入世帯数は減少し続け、加入率の低下に歯止めがかかっているとは言い難い状況が続いており、地域コミュニティの維持・活性化を目的として、令和6年3月に「大阪市町会加入促進戦略」（以下「戦略」という。）を策定しました。
- ・一方で、区や地域ごとにその特性が異なることから、それぞれに効果的な加入促進策については、地域特性に沿った手法が求められます。
- ・鶴見区では、区や地域の現状を把握したうえで、優先順位を決めて効果的な施策に取り組むため、「鶴見区 町会加入促進アクションプラン」（以下「アクションプラン」という。）を策定し、町会等の取組支援を行い、町会等と協働で加入率向上に取り組んでまいります。
- ・ただし、戦略に改訂があった場合や本市及び当区の地域コミュニティを取り巻く状況の著しい変化が生じた場合は、必要に応じて、適宜見直しを行うこととします。

## 2 アクションプラン期間と目標

### (1) 期間

令和6年度から令和8年度までの3年間とします。

### (2) 目標

令和8年度末に町会加入率（※）を令和5年度より向上することを目標とします。

また、人口動態や町会加入者数を加味した総合判断も参考指標として評価を行います。

※町会加入率：大阪市地域振興会を通じた組織現況調査による加入世帯数（区で把握した地域振興会以外の町会の加入世帯数も加算）を、国勢調査の世帯数で除して算出

## 第2 鶴見区の町会加入の状況

### 1 区の状況

#### (1) 町会の役割

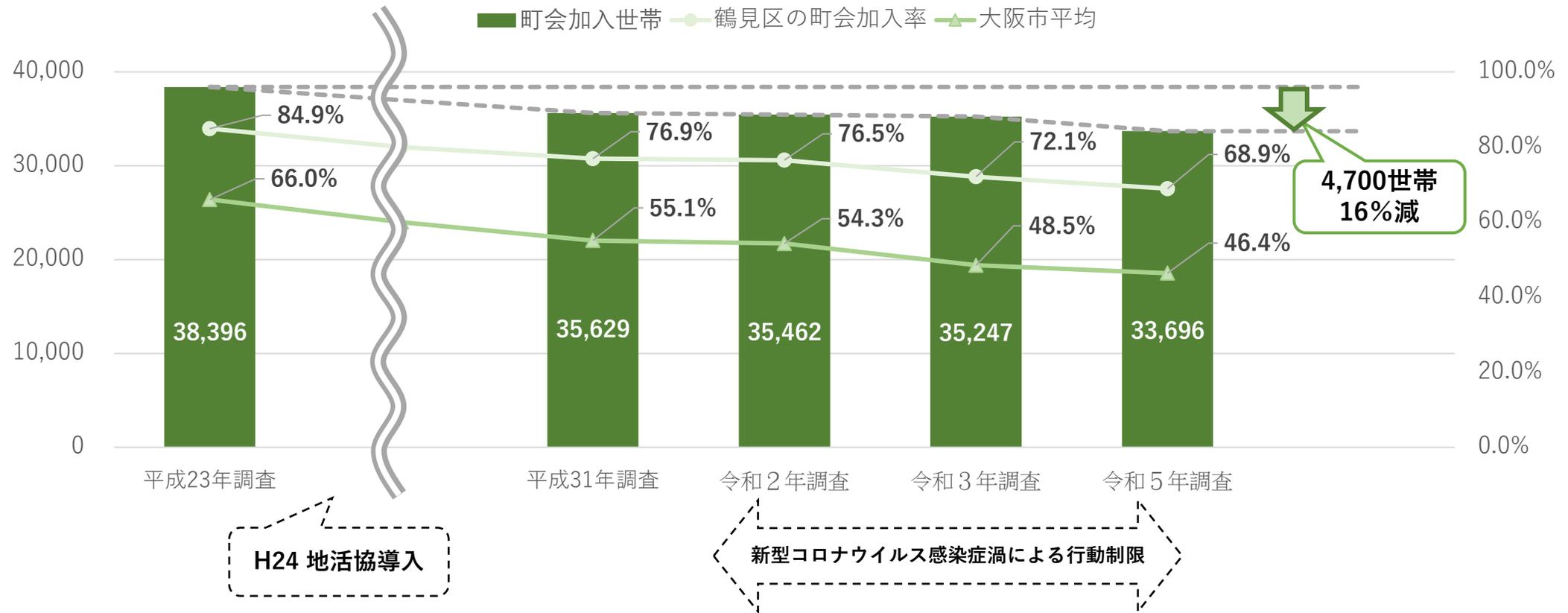
- ・日常生活を安全・快適に過ごすうえで、自助・共助・公助の三つの要素がうまく機能することが必要です。同じエリアで暮らす多様な年代・立場の方々による「人と人とのつながり」を基礎とした地域コミュニティは「共助」を実効性あるものとしてきました。その地域コミュニティの形成・維持は、長年にわたり「町会」がその役割を果たしてきました。
- ・「町会」は、日常生活を過ごす地での「人と人とのつながり」を基礎として、地域住民・企業等により自主的に組織・運営される任意団体で、現在も地域住民の多くが加入し、当区における地域活動のプラットフォームである「地域活動協議会」においても、最も重要な構成団体の一つです。
- ・この間、支援が必要な高齢者やヤングケアラー等を見守り適切な支援につなげる取組、近年の気候変動による風水害リスクに備えた地域の助け合いを基盤とした防災活動等、新たな地域課題に対応できる行政と地域の連携が喫緊の課題となっています。こうした課題解決に向けては地域に住まう「人と人とのつながり」を基礎とした取組を進める必要があり、日常生活を過ごす地での地域コミュニティの維持・活性化が一層重要になってきました。その上で、町会は改めて重要な役割を果たすこととなります。
- ・何よりも、ご近所の方々と顔見知りになることで、地震などの災害時の助け合いはもちろん、日常生活を安全・快適に過ごすことに繋がります。

## 第2 鶴見区の町会加入の状況

### 1 区の状況

#### (2) 町会の加入状況

- ・令和5年調査において、町会加入世帯数は33,696世帯、町会加入率は68.9%となっており、大阪市平均46.4%と比較して大きく上回っており、市内全24区の中で最も高い水準となっています。
- ・しかしながら、平成23年調査から令和5年調査までにかけて町会加入世帯数・町会加入率は低減傾向が続いており、平成23年と令和5年の各調査を比較すると、町会加入世帯数は4,700世帯、町会加入率は16.0%減少しています。

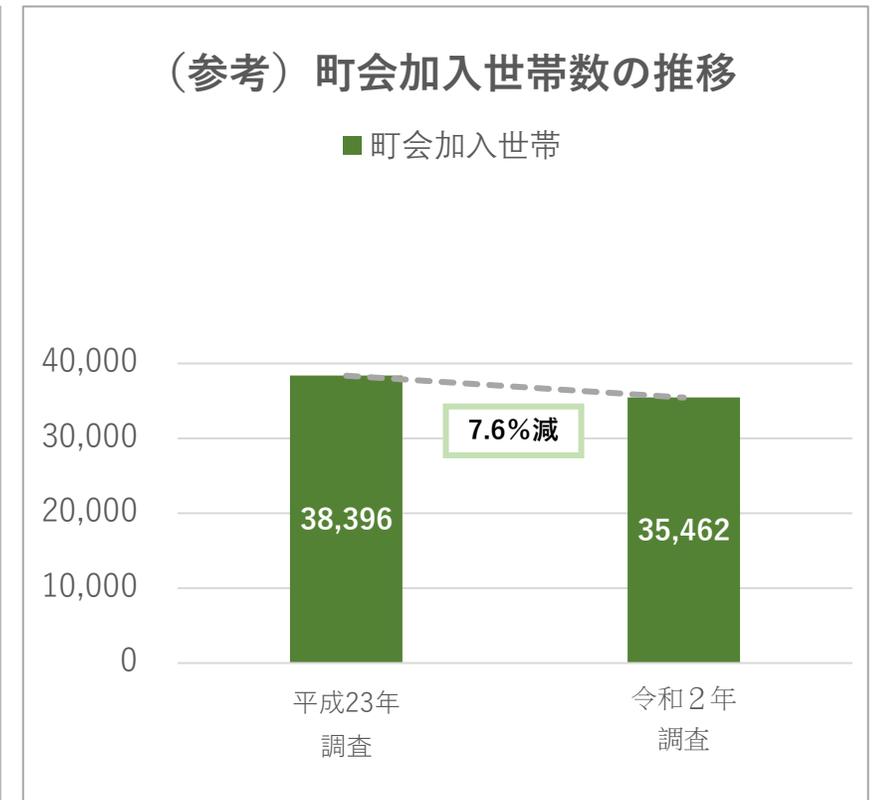
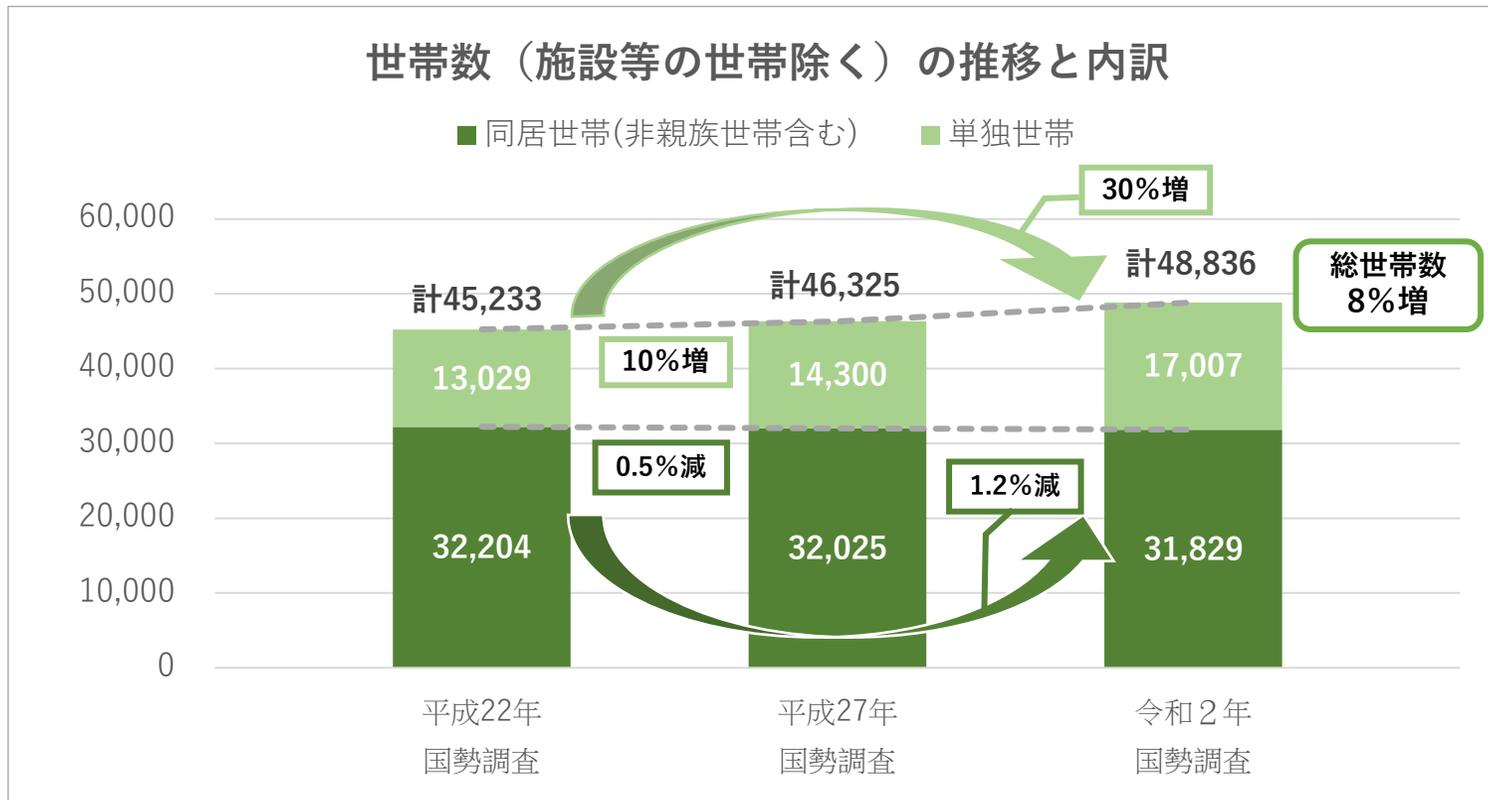


## 第2 鶴見区の町会加入の状況

### 1 区の状況

#### (3) 鶴見区の人口・世帯数の状況

- ・国勢調査の結果では、総人口・世帯数は緩やかな増加傾向にあります。
- ・平成22年から直近の令和2年の各国勢調査の内訳比較では「同居者がいる世帯」が32,204世帯から31,829世帯とほぼ横ばいで推移しているものの、「単独世帯」は13,029世帯から17,007世帯と1.3倍となっており、世帯数としては増加しています。一方で、同時期に調査した町会加入世帯は減少が認められます。



## 第2 鶴見区の町会加入の状況

### 2 これまでの鶴見区内での町会活動や加入促進に向けた取組

- ・鶴見区では、これまで各連合振興町会や各町会がさまざまな町会活動や町会加入に向けた取組を実施しており、区役所においても町会加入促進に向けたサポートとしてさまざまな取組を行ってきた結果、町会加入率は市内全24区でトップとなっています。

#### (1) 各連合振興町会や各町会による住民主体の手作りによる活動の実施

- ・ お祭りや子ども向けのイベントなど、各地域が工夫を凝らした魅力的なイベントを多数開催されています。
- ・ 大規模な災害に備えた訓練の実施や備蓄の確保や、防犯灯などの維持管理、高齢者の見守りなど、安全で安心なまちづくりに向けた活動にも取り組んでいます。
- ・ 子どもの通学路の見守り活動などに取り組んでいる地域もあります。
- ・ 町会の役員ではなくても、気軽にボランティアとして参加できる事業を実施している地域もあり、地域内での緩やかな連携が進められています。
- ・ 上記の活動等について、各地域の広報紙や町会掲示板・SNS等により情報発信を行っています。

準備・運営等が地域の皆さんにより行われることで、  
顔の見える関係が構築

## 第2 鶴見区の町会加入の状況

### 2 これまでの鶴見区内での町会活動や加入促進に向けた取組

#### (2) 各連合振興町会や各町会による加入促進の取組

##### 集合住宅への働きかけ

- 一部の地域において、新たに建設される集合住宅の建築事業者や販売事業者と調整し、マンション入居者や購入者向けの説明会で町会加入について紹介するなどの取組を行っています。

##### 転入者への働きかけ

- 町会活動を広く周知するため、町会掲示板へ各地域の広報紙や活動内容などを掲示しています。
- イベントをはじめ各種活動時に加入勧誘を行っています。
- 各会館での加入案内だけでなく、区役所作成の問い合わせフォーム等を活用した対応を行っています。

## 第2 鶴見区の町会加入の状況

### 2 これまでの鶴見区内での町会活動や加入促進に向けた取組

#### (3) 区役所による加入促進サポートの取組

##### 転入者への働きかけ

- 区役所へ転入届を出しに来る区民に対し、町会の活動やメリットを記載したリーフレットを配付しています。
- 町会に興味を持たれた方への問合せをよりスムーズにするため、住所や電話番号だけでなく、Googleフォームを活用した問合せフォームを作成し、リーフレットにURLや二次元コードを印字したチラシを作成しています。

##### 町会の魅力発信

- 区ホームページや広報紙、暮らしの便利帳など、様々な媒体を活用し、町会の活動や加入のメリットなどをPRしています。
- 各種イベントでの区長はじめ区職員による挨拶などの機会に、イベントはじめ各種活動への参加の意義をPRしています。

## 第2 鶴見区の町会加入の状況

### 3 鶴見区の町会加入における課題

- ・令和5年度において、各連合会長間の意見交換やこれまでの町会加入促進のための取組を行ってきた中で、次のとおりの課題が指摘されました。

課題	対策	該当する 戦略の 3つの柱
<b>転入者の加入勧奨が難しい</b> ・マンションの管理会社に協力を得られないケースがある	・集合住宅への強力な働きかけ	<b>戦略①</b>
<b>町会加入のメリットが希薄</b> ・町会の魅力やメリットが普段の生活からは見えづらく、説明が難しい ・町会に加入しなくてもイベント参加できるのであれば、加入は不要なのではないか ・町会単位でイベントをする力が弱くなっており、町会の役割を連合町会が引き取っている状態になっている	・様々な広報媒体を活用した対象別プロモーションによる町会の魅力やメリット・町会の意義の発信、町会認知度の向上	<b>戦略②</b>
<b>地域のために協力しようという意識の低下</b> ・住民同士のコミュニケーションが不足している	・イベント参加者への積極的な声掛け	
<b>町会加入による負担が大きい</b> ・共働き世代の増加しており、休日等に町会の仕事をするための負担が大きい（時間がない） ・子どもは興味を示すが、親の負担が大きくなり加入を見送る ・若い世代は生活時間がそれぞれ違うため、活動しづらい	・情報共有・発信、会計事務など町会活動のデジタル化による事務負担軽減 ・他都市等の好事例を参考にし、できる範囲での活動による参加形態の模索	<b>戦略③</b>

## 第2 鶴見区の町会加入の状況

### 3 鶴見区の町会加入における課題

- ・また、鶴見区の町会におけるその他の課題として、次のようなものが挙げられました。

その他の課題	主な問題点
加入してもらえても町会費を払うのみで 行事等には協力してもらえない	町会費等の金銭的負担 < イベント参加等の時間・実働の負担
解散した町会の中に町会を続けたいと 思っている人がいる	隣の町会への入会を勧めるが、居住地域での仲間外れを懸念
担い手側の課題が多い	担い手の高齢化 次の担い手がおらず育成できないため世代交代できない

# 第3 鶴見区における基本的な方針と具体的な取組

## 1 基本的な考え方

- ・これまでの取り組んできた事項は継続して行い、改善を要するものについては改善・拡充を図る必要があります。
- ・町会・地域活動協議会の両方に効果的な支援となるよう、戦略における3つの柱に基づく具体的取組のうち、全区で共通の取組を徹底することに加え、区・地域の特性に応じて重点的に取り組む内容を定め、町会と対話しながら、できることから協働で加入促進に取り組めます。

### 戦略の3つの柱

戦略① 集合住宅への働きかけの徹底

戦略② 「町会プロモーション」の徹底

戦略③ 「次世代型の町会」のモデル導入と展開の支援

# 第3 鶴見区における基本的な方針と具体的な取組

## 2(1) 共通取組の徹底

鶴見区での  
取組状況

・全区において局等と連携し、共通して以下の取組を徹底します。(★は鶴見区において優先的に取り組むもの)

戦略① 集合住宅への働きかけの徹底	既存集合住宅への働きかけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宅建協会や地元不動産業者との連携</li> </ul>	継続
	建設段階からの働きかけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市営住宅への加入勧奨</li> </ul>	拡充
	既存集合住宅への働きかけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たに建築される集合住宅等情報を活用した建築事業者への強力な働きかけ(大規模建築物事前協議制度や建築物事前公開制度情報の活用)</li> <li>・集合住宅向け町会加入促進パンフレット等、広報物の配布・提供</li> </ul>	拡充★ 新規★
戦略② 「町会プロモーション」の徹底	「オール大阪」で取り組む広報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区の広報紙を使った情報発信</li> </ul>	継続★
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「転入者パック」への町会加入案内の封入</li> </ul>	継続★
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・加入促進推奨事例の収集・共有</li> </ul>	継続
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを活用した情報配信</li> </ul>	拡充★
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・町会加入促進チラシ・ポスターの充実</li> </ul>	拡充★
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪市地域振興会のホームページ等との連携</li> </ul>	新規
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント等での啓発グッズの配付や呼びかけ</li> </ul>	新規
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童向け啓発冊子の活用</li> </ul>	新規
戦略③ 「次世代型の町会」のモデル導入と展開の支援	現在の町会の課題解決	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関・企業との連携</li> </ul>	拡充
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間企業等との連携</li> </ul>	新規
戦略③ 「次世代型の町会」のモデル導入と展開の支援	現在の町会の課題解決	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政からの依頼事項の総点検</li> </ul>	継続
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・効率的な町会運営事例の収集・共有</li> </ul>	継続

# 第3 鶴見区における基本的な方針と具体的な取組

## 2(2) 鶴見区において、共通取組のうち特に優先的に取り組む内容

取組1	戦略① 集合住宅への働きかけの徹底			拡充
	新たに建築される集合住宅等情報を活用した建築事業者への強力な働きかけ			【令和8年度末実績】
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>一部の地域において行っている、新たに建設される集合住宅の建築事業者や販売事業者と調整し、マンション入居者や購入者向けの説明会で町会加入について紹介するなどの取組を、全地域を対象として可能な限り実施します。</li> <li>町会の意向を確認のうえ、「大規模建築物の建設計画の事前協議制度」や「建築物事前公開制度の情報」を活用し、建築事業者に対して町会の意義や活動の説明を行い、町会加入に向けた働きかけを行います。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>
工程	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	随時、町会の意向を確認し、新たに建築される集合住宅情報を活用し、建築事業者へ働きかけを行う。			
取組2	戦略② 「町会プロモーション」の徹底			継続
	ICTを活用した情報配信			【令和8年度末実績】
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでも実施してきた各連合振興町会の区域に関する情報の区ホームページへの掲載を適宜修正等しながら継続して実施すると同時に、住民からの相談や加入申込みをメール等で直接町会へ橋渡しできる仕組みづくりを行います。</li> <li>町会加入問合せフォームのURLや二次元コードを、ポスターやチラシに入れて問合せしやすく配慮します。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>
工程	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	町会等が管理・運用する町会加入のためのGoogleフォームのURL・二次元コードを区HP・チラシに掲載	必要に応じて修正しながら区HPを管理 必要に応じて修正しながらポスター・チラシを配布		

# 第3 鶴見区における基本的な方針と具体的な取組

## 2(2) 鶴見区において、共通取組のうち特に優先的に取り組む内容

継続

拡充

戦略① 集合住宅への働きかけの徹底  
 戦略② 「町会プロモーション」の徹底

既存集合住宅への働きかけ  
 様々な広報媒体を活用した対象別プロモーションの実施

内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象別の町会PRチラシを作成し、それぞれ興味を持ってもらいやすい活動内容を中心にPRすることで、町会加入を促進します。</li> <li>区の様々な広報媒体を活用することで、町会PRを目にしてもらう機会を増やします。</li> </ul>	<p>【令和8年度末実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>
	<p>区 の 特 性 ・ 取 組 理 由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鶴見区は、世帯数は増えているものの町会加入世帯は減少していることから、転入者、若者世代、子育て世代など対象別にアプローチし、町会を認知してもらう必要があります。</li> <li>様々な広報媒体を活用してPRすることで、町会が「いざという時の居場所」となるなど、普段の生活からは見えづらいメリットの見える化を促進します。</li> <li>転入時に区役所窓口にてお渡しする「転入者パック」にチラシを入れることで、町会の活動内容やスケジュールを目にしてもらい、町会の存在を認知してもらう機会を作ります。</li> <li>また、大阪市公式LINEを活用し、「お住まいの地域」を鶴見区に設定している登録者に向けて町会のイベントスケジュール等を発信し、町会の活動をPRします。</li> </ul>	

取組3

	令和6年度	令和7年度	令和8年度
工程	対象別PRチラシの作成・区の様々な広報媒体を活用したPR実施		
	まちづくりセンターによる町会別PRチラシ作成支援の検討	町会別PRチラシの作成 まちづくりセンターによる作成支援	まちづくりセンターへチラシ作成を委託

# 第3 鶴見区における基本的な方針と具体的な取組

## 3 区の実態に応じた重点的な取組（共通取組以外で区において任意で取り組むもの）

新規

### 戦略③ 「次世代型の町会」のモデル導入と展開の支援

#### 町会活動まるとデジタル化支援

取組2	内容	回覧板や各町会内での情報共有等のIT化、町会費の効率的な回収につながる取組を通じて、町会活動のデジタル化を支援します。		【令和8年度末実績】 ・ ・ ・
	区の実態・取組理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>区内には、回覧板のIT化や町会費のコンビニ払い・アプリ払いなど、町会を効率的に運営できるような仕組みの導入に関心のある町会もあります。</li> <li>アプリの導入といった町会活動のデジタル化は、町会運営の効率化や迅速化だけでなく、現役世代や若者など多様な世代とのコミュニケーション方法の充実や、積極的な参加を促すことが期待できます。</li> <li>市としても、電子回覧板や災害時の情報共有等の機能をパッケージとしたアプリの導入を検討しております。</li> <li>デジタル化に意欲がある町会をモデルに、デジタル化のきっかけとなるよう実証的にアプリ導入支援を行います。</li> <li>また、効果や課題を明確化し共有することで、区内における自主的な町会活動のデジタル化の支援します。</li> <li>さらに、会議録の作成などAIの活用事例など町会活動に役立つ情報の収集を行い、必要な情報提供を行います。</li> </ul>		
	工程	令和6年度 現在デジタル化を進めている町会に対し、運用方法などを調査	令和7年度 デジタル化に意欲がある町会をモデルに、デジタル化のきっかけとなるよう実証的にアプリ導入支援（市民局事業への参加支援）	

# 第3 鶴見区における基本的な方針と具体的な取組

## 4 今後のスケジュール

日程	項目
R6.4~	「大阪市町会加入促進戦略」の議員説明、連合振興町会長説明
R6.4~6	「鶴見区アクションプラン」の策定に向けた課題の棚卸、その他課題の抽出、地域との認識共有
R6.7	「鶴見区アクションプラン」策定
R6.9~11	広報つるみ、地活協連絡会、町会長会議等で「鶴見区アクションプラン」の周知、説明
R6.11~	支援等開始